

彦根



彦根御城下 町衆力

柴田いづみ

彦根は、関ヶ原の合戦後、築城に伴い内堀、中堀、外堀と3重の堀と芹川、松原内湖によって守られた城下町である。現在、京橋から伸びる商業地は、道路の拡幅とともに「夢京橋キャッスルロード」として平成の木造町屋のファサードをもつ街路となった。これは地元町衆が自ら景観コードをを決めた事例である。この平成の町屋群の裏手には、いまだに足軽屋敷や町屋が残っている。さらに「花しょうぶ通り」は今もっとも元気な街づくりをしている。これらは町衆力がつよくなってきたという特徴でもある。

4月14日(木)19:00~21:00

柴田いづみ： 滋賀県立大学 環境建築デザイン学科教授

＜東日本大震災による首都圏混乱のため延期されました。＞

■会場：本郷瀬川ビル 6階ホール
東京都文京区本郷2-35-10

■主催：NPO法人景観デザイン支援機構
(TDA-J) tel:080-6722-4114

■参加費：一般:2,000円
TDA正会員・賛助会員・学生:1,000円
お申し込み：<http://www.tda-j.or.jp/>

